

中 御祓中だより

平成27年 3月17日

No. 13

七尾市立御祓中学校

TEL 53-0201

ホームページアドレス <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~misogj/NC2/htdocs/>
メールアドレス misogityu@city.nanao.ishikawa.jp

1・2年生 ジュニア・ウイングス プログラム 説明会 2月6日(金)

アメリカ・モンレー市でのホームステイ体験プログラムについて1・2年生を対象に説明会がありました。

今年の日程は、8月6日(木)～18日(火)の13日間を予定しており、七尾青年会議所青少年育成委員会の担当者や七尾・モンレー友好協会特別顧問のティム芦田先生から活動内容等について丁寧に説明していただきました。

H25年度には本校からも積極的に参加しており参加生徒は貴重な体験を通して新たな自分を発見し、各自の自信を深めてきています。



自分自身を高める絶好の機会となっており、本年度は5名の生徒が挑戦する予定です。

小学校6年生 元気に体験入学



2月10日(火)

次年度に中学校入学を予定している6年生が実際に中学校を訪問し、中学校の授業を体験しながら来るべき中学校生活への不安等の解消をねらいとした体験入学を実施しました。



1・2組の2クラスの生徒が、午後からの2校時で英語と体育の授業を交互に体験しました。体育は武道(剣道)、英語は1クラスをさらに2グループに分けて少人数授業を行いました。

6年生は緊張感の中にも目的意識をしっかりと持って行動することができ、本校の田川貴大生徒会長の歓迎の言葉を聞く態度も実に立派でした。



体育(剣道)で竹刀の素振りを習い、縦一列に竹刀を打ち払いながら前進する児童。

英単語の発音を習い、絵をヒントに音と文字の一致に慣れるカードゲームに取り組む児童。



立志式を迎える(2年生)

2月19日(木)



本校図書室にて、2年生の立志式を行いました。式を迎えるに当たり、生徒は事前にこれまでの自分を振り返り、それぞれに決意をしたためました。そこには素直に自分を見つめる姿があり、向上心や将来に向けての準備とそのための日常での意識化が感じられ、見方・考え方が広がってきている様子が伺えました。

校長からの励ましの言葉では、「なせば成る

なさねば成らぬ」の言葉を贈り、武田信玄(たけだしんげん)と上杉鷹山(うえすぎようざん)の教えを紹介しながら、道を開くには強い意志と実践することの大切さを強調しました。

式は生徒主体で、司会・進行を西川孝優くんとと奥原七海さん、立志の思いの発表を高田健斗くんとと浦谷有唯さん、誓いの言葉を江表真希さんが行いました。



日常生活から自分を厳しく律していた兄を見習い、自分もソフトテニスで兄と同じ全国の舞台に立つことを誓う高田くん。

医療現場での職場体験を通して、職業観が変わり、人の役に立ち、人を笑顔にできる職に就くための努力を誓う浦谷さん。



家族からの「愛情」友からの「信頼」先生・先輩からの「尊敬」を心の支えに努力を誓う江表さん。そして笑顔で進行を務める西川くんと奥原さん。

立志式 記念講演

「Go to see the Light ~音楽の力~」

講師：中田 理恵 氏

立志式に伴い、本校卒業生で現在金沢を中心に幅広く活躍されているヴォーカルユニット「VOX OF JOY」代表の中田 理恵さんを講師にお迎えし、記念講演を行いました。各種の楽器を操り、ヴォイストレーナーやエンターティナーとして全国で活動する中で、能登・七尾の良さに気付き、最近では能登にこだわって活動されている点や音楽の持つ力の偉大さ、夢を持つことの大切さを伝えていただきました。さらに2年生が市合同音楽会で披露した「Oh Happy



Day」を一緒に歌い上げ、ゴスペルソングの醍醐味を生徒も体感することができ、大先輩から大きな学びをいただきました。

おめでとう・表彰伝達



3月7日(土)に、第1回文芸のつどいジュニアの部の表彰式が七尾サンライフプラザにおいて行われました。

本校からも俳句・川柳の各部門で多くの生徒が入賞しました。詳細については以下の通りです。おめでとうございます。

《 俳 句 》

特選：除夜の鐘 過ぎてゆく年を しみじみと
武村 理也 (2の2)

特選：青空に とける子供の 白い息
泉 れな (3の2)

入選：おでん食べ じーんと体 あつたまる
金子明日香 (3の2)

// : 遠くから 家族集まる 年の暮れ
畠山紗哉加 (3の2)

// : 新年は 羽ばたくための 第一歩
和田 隆聖 (3の1)

// : お雑煮を 食べすぎ体 重くなる
小川 葉奈 (3の1)

// : セーターで 心も体も 暖かい
寺田ひとみ (3の1)

《 川 柳「題：はじめて」 》

入選：傷ついて 初めて学ぶ その痛み
中村 水優 (3の1)

// : はじめての 高校生活 胸騒ぐ
吉尾 航太 (3の1)

ピュアキッズスクール (1年生)

3月2日 (月)

講師に七尾警察署生活安全課の小西補導員をお迎えし、1年生を対象に規範意識の高揚を目的とした出前授業を実施しました。

今回は人を傷つける(いじめ)というテーマで、武原先生が指導の中心となりストーリーの場面ごとに出される質問を通して登場人物の気持



ちや状況を考えながら、みんなが楽しく生活できる環境について考え、補導員の小西さんから指導助言をいただきました。

祝 準優勝
松涛旗男子バレーボール大会
 3月7日(土)～8日(日)

七尾城山体育館及び七尾東部中学校体育館にて北信越の16中学校が参加し、標記交歓大会が開催されました。交流試合とはいえ、各県の強豪チームが参加しており、3月21日(土)～22日(日)に黒部市で行われる北信越新人バレーボール大会に向け、力の入った試合が展開されました。本校は予選リーグを2位で通過し、決勝トーナメントでは1回戦を七尾東部中学と(市バレーボール協会の谷内会長より激励を受ける)対戦し2-1で勝利。2回戦は福井県3位の上庄中学と対戦。これまで練習試合では勝てなかった上庄中学に、なんと接戦を制して2-1で勝利し決勝へ駒を進めました。決勝戦は夏の北信越大会優勝校の新潟市立中之口中学と対戦し、善戦するも0-2で敗れました。しかし、今回は体調不良でエースを欠いた状態での準優勝であり、各メンバーの成長とチームとしての団結力が確認でき、北信越新人大会に向け、弾みをつける結果を得ることができました。



(市バレーボール協会の谷内会長より激励を受ける)

3月11日には、七尾市バレーボール協会長の谷内洋介先生が来校され、今回の結果を評価していただき、北信越新人大会出場に向けて激励していただきました。



御祓 (23-25, 25-16, 25-18) 七尾東部



御祓 (21-25, 25-23, 29-27) 上庄



御祓 (12-25, 12-25) 中之口

卒業生・在校生の 心が一つに
第68回 卒業証書授与式



3月13日(金)、名残雪を溶かす春の日差しの中で、第68回を数える御祓中学校卒業証書授与式を挙行了いたしました。本年度の卒業生74名(男子38名、女子36名)は、3年間の思い出を胸に、保護者や教職員に感謝の気持ちを伝え、学び舎に別れを告げました。式は、国歌・校歌斉唱に続き、卒業証書の授与、皆勤賞の授与、学校長式辞、教育委員会告辞、PTA会長祝辞、PTAから卒業記念品の授与、在校生送辞、在校生の合唱「流れゆく雲を見つめて」、卒業生答辞、卒業生の合唱「桜ノ雨」そして全校合唱「揚げば尊し」で締めくくりました。

【学校長式辞】

後輩を力強くリードし、一丸となって御祓中を高め、立派に成長を遂げた皆さんは、私たち教職員の喜びです。トンボの幼虫ヤゴが水中生活から大空を滑空するまでに大きな変化を遂げるように、皆さんは人間の子として人の間で役立つ力を生まれながらにして持っています。高い志を持ち、今の自分を一生懸命生きることが大きな成長につながります。秘めている自分の可能性を強く信じてください。高校でのさらなる活躍を期待しています。

学校卒業証書授与



学校長式辞

【教育委員会告辞：近江 一芳 教育長】

中学校を巣立ち行く皆さん一人一人には、未来に広がる大きな可能性が秘められています。ご卒業にあたり、錦織 圭 選手の「誰かを超すとか、誰かに抜かれるとかではなく、自分ができる最大限の努力をする。」という言葉をご紹介します。錦織選手は、他者との比較ではなく自分自身の努力の大切さを訴え、その努力が自信につながると語っています。人は夢を持ち続けることが大切です。皆さん一人一人が大きな夢と希望を持って活躍することを期待しています。



教育委員会告辞

【PTA会長祝辞：杉本 賢一郎 会長】

4月から新しい生活が始まります。今は希望と不安が入り交じったそんな皆さんにイギリスの詩人パーシー・ビッシュ・シェリーの言葉を贈ります。「冬来たりなば 春遠からじ」日本では、よくこう言われています。春が来ないことはないという意味です。人生も同じです。どんなに辛く悲しいときがあっても必ず希望溢れる春が来ると信じて、勇気を持って前進してください。一步一步、勝利の前進をし自分自身にとって最高の春を迎えられんことを心から念願しています。



PTA会長祝辞

【在校生送辞：田川 貴大】

忘れもしない入学式。不安と緊張で一杯の私たちの前で、堂々と頼もしい姿を見せてくれました。その日以来、私たちはずっと皆さんの後ろ姿を追いかけ、たくさんのことを学んできました。皆さんは私たちにとって尊敬できる素晴らしい先輩でした。明日から頼る人はもういません。不安で一杯ですが、熱い気持ちを受け継いで、この御祓中の伝統を守っていきます。皆さんも御祓中の卒業生であるという誇りをもってはばたいてください。皆さんのご健康とご活躍を心よりお祈りして送辞といたします。



在校生送辞

【卒業生答辞：平島 万祐子】

古き良き伝統に支えられた御祓中学校も残り二年間でその幕を閉じます。主役である皆さんが、さらに発展させてくれることを願い、いつまでも卒業生として応援しています。私たちは今日をもって御祓中学校を卒業します。私たちを育ててくれた多くの方々に感謝し、私たちはこの学舎を旅立ちます。「幾千の学舎の中で僕らが巡り逢えた奇跡 幾つ歳をとっても変わらないで その優しい笑顔 いつかまた大きな花弁を咲かせ 僕らはここで逢おう。」どうか七十四本の道が希望で溢れていますように。



卒業生答辞



(卒業証書授与の前に1組から順に呼名を受ける卒業生)



(3年1組最後の学活で感動の涙)



(3年2組笑顔で集合写真)



(出で立ちの式で挨拶をする1組代表の櫻さんと2組代表の川本くん)





**1年間の学業面の努力を評価
御祓中教育奨励賞を授与**



卒業式の前日3月12日（木）、平成26年度を振り返り、日頃の学習タイムのまとめとして1週間に1回ペースで実施してきた確認テストのトータル平均で優秀な成績を修めた生徒を学年ごとに表彰しました。1週間を復習する地道な学習に真面目に取り組んだ努力を金賞・銀賞・銅賞で評価し、一人ひとりに賞状とトロフィーを贈呈して全校生徒で讃えました。受賞者は以下の通りです。おめでとうございます。



賞	1年生	2年生	3年生
金賞	南 佳吾 (1組)	島津友香 (1組)	打越幸音 (1組)
銀賞	中島健雄 (2組)	山本日菜子 (1組)	北島健太 (2組)
銅賞	大松風月 (3組)	寺井 萌 (1組) 池田音緒 (2組)	林 涼加 (1組)

**第7回 能登和倉
万葉の里マラソン 2015
吹奏楽部 応援ボランティア**



青空広がる穏やかな天候に恵まれた3月15日（日）、3,300人以上のランナーが参加し、42.195kmのマラソン大会が開催されました。



本校吹奏楽部（32名）も30.6km地点の第8エイド付近で応援ボランティアとして参加しました。生徒はテンポの良い曲を演奏したり「ガンバレー」と大きな声で声援を送ったりしながら、ランナーに心のこもった応援をすることができました。ランナーの方々も大変辛い状況の中にも生徒の応援に手を振って応えてくださったり、生徒の演奏に拍手を送ってくださったりと、応援を通して心温まる充実した時を過ごすことができました。



会長:奥村晃穂(201)

**平成27年度 前期生徒会役員決まる
所信演説会 3月16日(月)**

平成27年度前期生徒会役員選挙が行われ、今回は無競争当選で役員が決定しました。会長を始め、それぞれが力強く所信演説を行い新リーダー誕生に大きな拍手が送られました。



副会長:高田健斗(201)



副会長:谷口蝶子(201)



書記:森 翔(201)



書記:奥村美羽(202)



会計:滝 智貴(202)